

AD-4352改元時の設定変更手順書

改元後は、以下の設定を変更することにより、年表示が“平成31年”から“令和 1年”に切り換ります。

- ・元号表記及び元号の頭記号
- ・現在の元号元年の西暦

以下にその手順を示します。

1) 計量画面から赤丸で示したメニューボタンを押します。

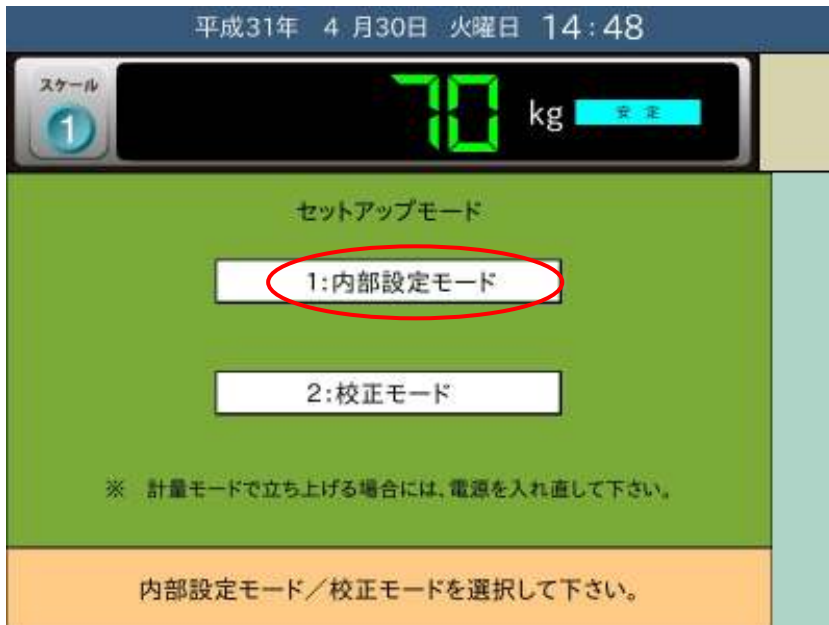


2) すると以下のようにメニュー画面を表示します。

さらに、赤丸で示した“メインメニュー”を3秒以上長押しします。



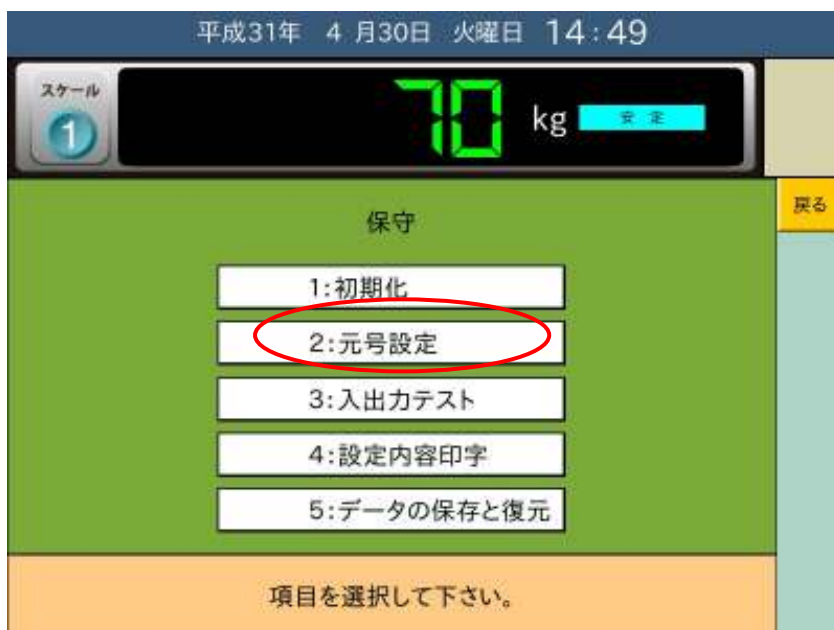
3) すると、画面が一度真っ暗になり、その後以下のようにセットアップモードを表示します。
ここで、赤丸で示した“1：内部設定モード”を押します。



4) すると、以下のように内部設定モードを表示します。
さらに、赤丸で示した“6：保守”を押します。



- 5) すると、以下のように保守モードを表示します。
 さらに、赤丸で示した“2：元号設定”を押します。

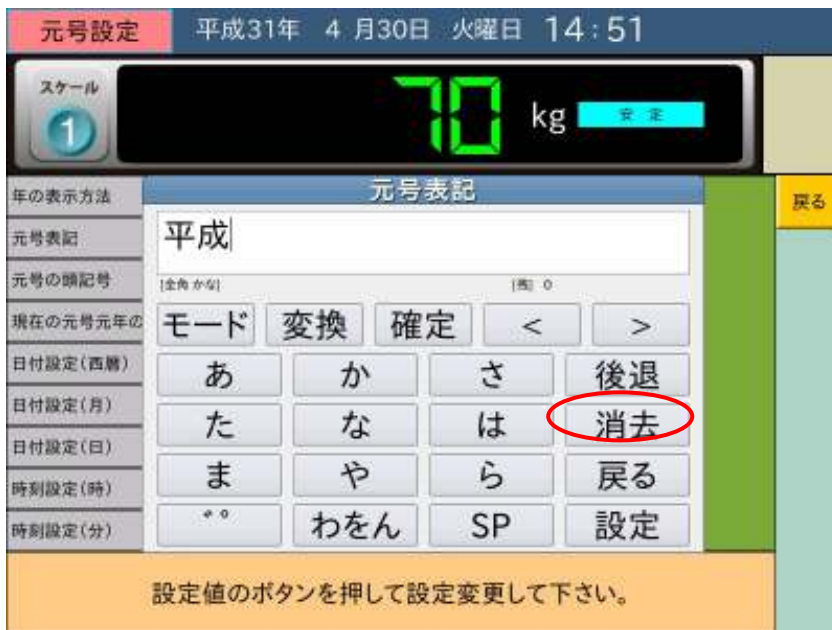


- 6) すると、以下のように元号設定画面を表示します。
 ここで、赤丸で示した元号表記の“平成”を押します。



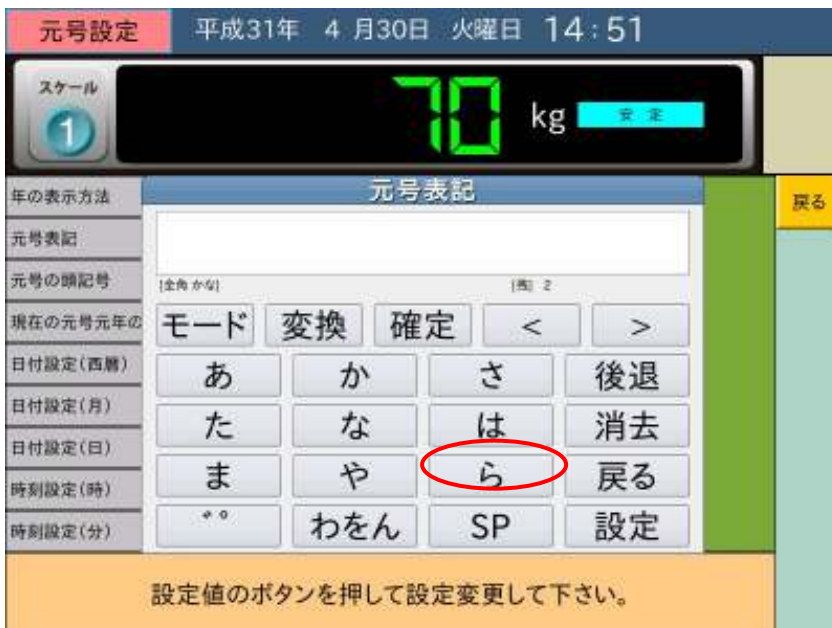
7) すると、元号表記変更のためのダイアログを表示します。

ここで、赤丸で示した「消去」を押します。

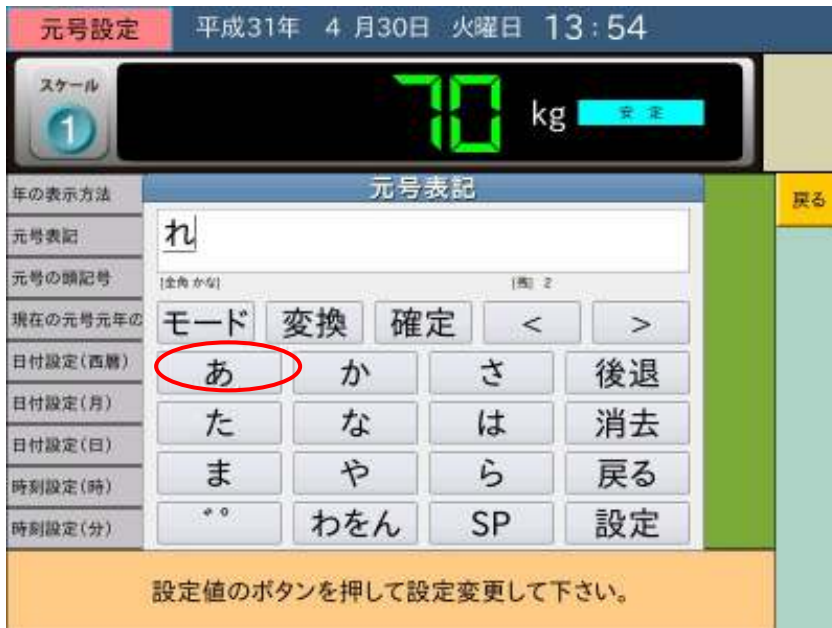


8) すると、ダイアログ内の入力文字の表示欄が消えます。

この状態で、赤丸で示したダイアログ内の“ら”を4回押します。

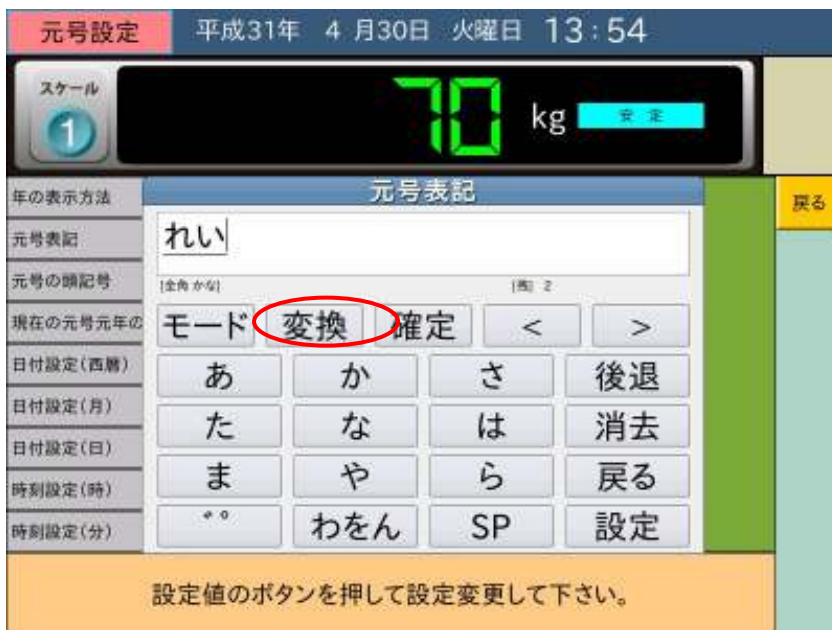


- 9) すると、ダイアログ内の入力文字の表示欄に“れ”を表示します。
さらに、赤丸で示した“あ”を2回押します。

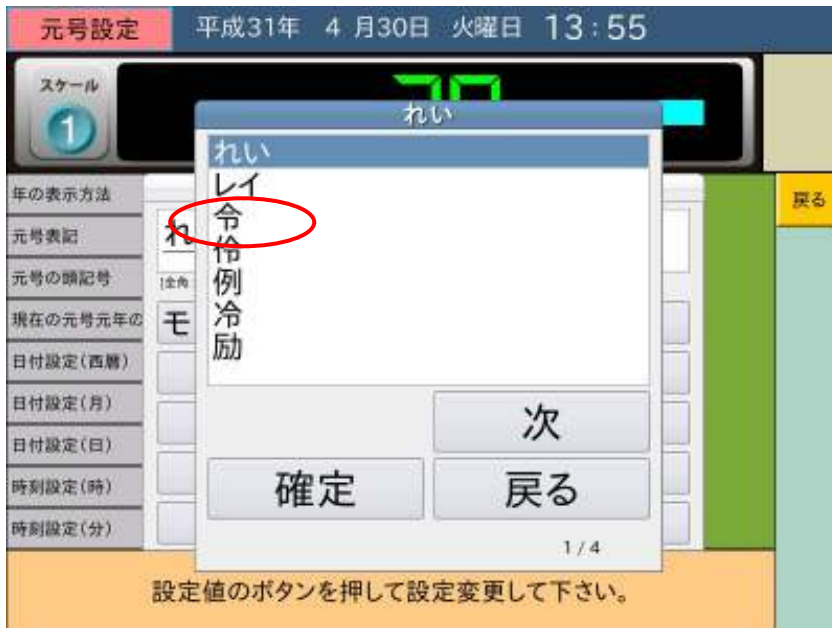


- 10) すると、ダイアログ内の入力文字の表示欄に“れ”に続いて“い”を表示し、合わせて“れい”と表示します。

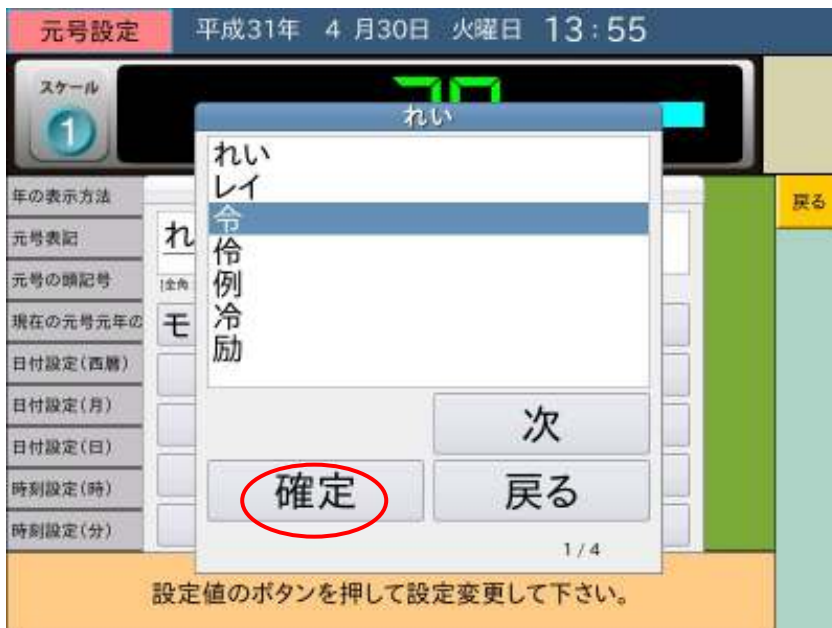
ここで、赤丸で示したダイアログ内の“変換”を押します。



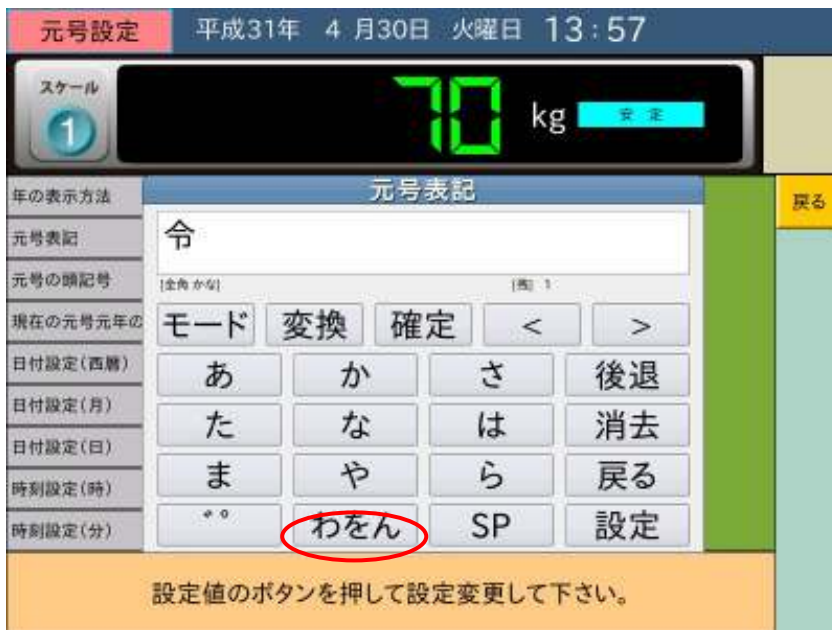
- 1 1) すると、“れい”を漢字に変換した文字をダイアログ内に表示します。
ここで、赤丸で示したダイアログ内で上から3つめの“令”を押します。



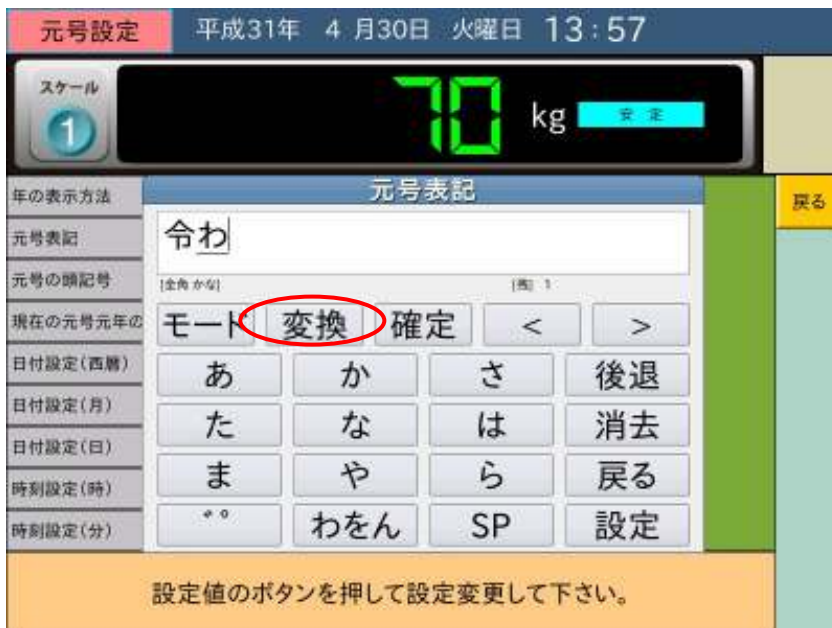
- 1 2) すると、選択された“令”が反転表示されます。
ここで、赤丸で示したダイアログ内の“確定”を押します。



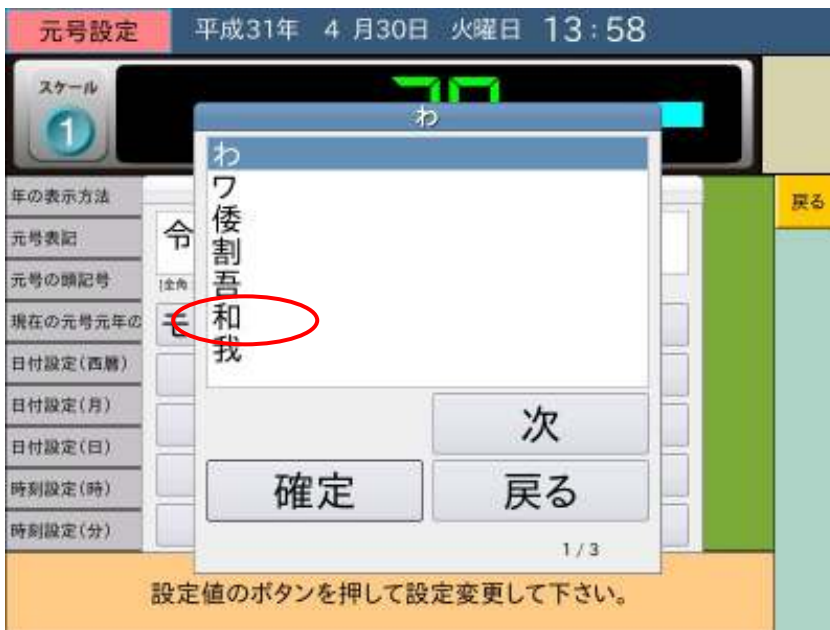
- 1 3) すると、ダイアログ内の入力文字の表示欄に“令”を表示します。
次に、赤丸で示したダイアログ内の“わをん”を押します。



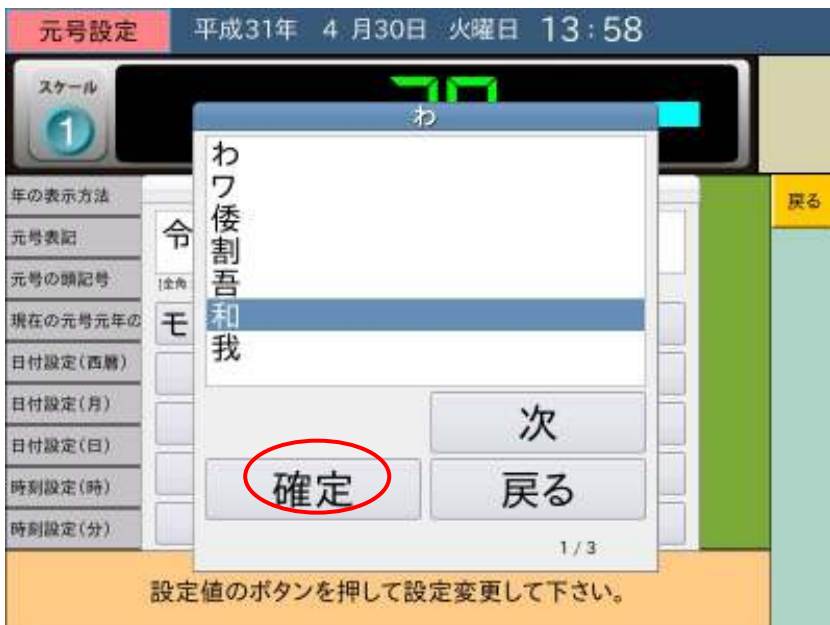
- 1 4) すると、ダイアログ内の入力文字の表示欄に“令”に続いて“わ”を表示します。
ここで、赤丸で示したダイアログ内の“変換”を押します。



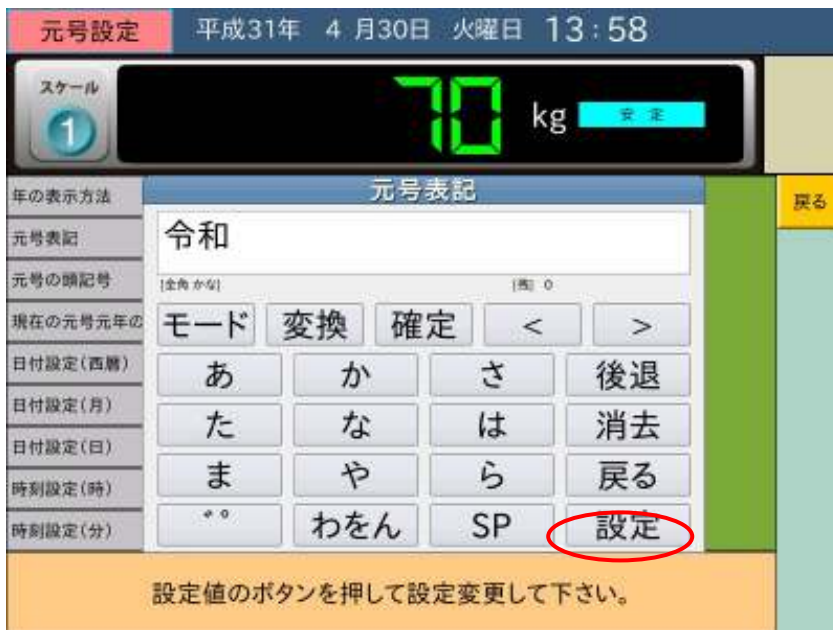
1 5) すると、“わ”を漢字に変換した文字をダイアログ内に表示します。
ここで、赤丸で示したダイアログ内で上から6つめの“和”を押します。



1 6) すると、選択された“和”が反転表示されます。
ここで、赤丸で示したダイアログ内の“確定”を押します。



1 7) すると、ダイアログ内の入力文字の表示欄に“令和”と表示します。
 ここで、ダイアログ内の“設定”ボタンを押します。



1 8) すると、以下のように元号の表示が“平成”から“令和”に変わります。
 赤丸部分をご確認ください。
 次に青丸で示した、元号の頭記号の“H”を押します。



1 7) すると、以下のように元号の頭記号変更用のダイアログを表示します。

ここで、赤丸で示した矢印を押して、ダイアログ中の表示をずらして、“R”を表示させます。



1 8) ここで、“R”を押して反転表示させます。



19) この状態で“OK”を押します。



20) すると、以下のように元号の頭記号が“R”に変わります。

次に、赤丸で示した現在の元号元年の西暦の“1988”を押します。



2 1) すると、現在の元号元年の西暦を変更するためのテンキーダイアログを表示します。

ここで、テンキーダイアログ内の数値ボタンを以下の赤丸で示したように順に押して“2018”と入力します。



2 2) すると、テンキーダイアログ内の数値表示欄に“2018”と表示します。

ここで、赤丸で示した設定ボタンを押します。



※元号元年の西暦となっていますが、実際は元号0年の西暦の設定になります。よって、2018年が令和0年、つまり2019年が令和1年となります。

23) すると、元号元年の西暦が“2018”となり、以下の赤丸で示すように、“令和1年”となります。



設定変更は以上になります。

電源を入れ直し、以下のように年表示が“令和 1年”となっていることを確認します。



(注意)

・平成31年に作成した伝票は改元時の設定変更を行い、年表示を“令和 1年”とした後でも、平成31年のまま保存されています。再発行を行えば、“31. 4. 30”のように印字します。

・集計印字においては、平成31年も令和1年も同じ年として扱います。

以上